

令和  
6年度

男女共同参画視点の

## 災害対応力向上講座

～誰ひとり取り残さない避難所の設置・運営を学ぶ～

あすばるでは、今年も地域における災害対応力向上のために、防災に取り組む地域の皆さんを対象に男女共同参画視点による講座を開催します。今年1月に能登半島地震が発生し、多様な視点を持った災害対応の重要性は益々高まっています。地域での実践に向けて一緒に考えてみませんか。

日時

6月16日 日 10:00～16:00

場所

クローバープラザ 5階 セミナールームAB  
(春日市原町3丁目1-7)

定員




70名程度 ※ 先着順受付 / 要事前申込

対象者

- ・地域で防災活動をしている人
- ・自治会役員
- ・市町村職員 等

※興味のある方はどなたでも  
ご参加ください！

## 研修カリキュラム

< 講義 > 10:00～11:00	災害時の男女共同参画の視点の 基礎 災害対応の質を高める男女共同参画の 視点について事例から学ぶ	浅野 幸子さん (減災と男女共同参画 研修推進センター 共同代表、 早稲田大学「地域社会と危機管理研究所」 招聘 研究員) 2020年内閣府「災害対応力を強化する女性の 視点～男女共同参画の視点からの防災・復興 ガイドライン～」検討委員会座長	
< 講義 > 11:00～12:00	避難生活で命と健康、本当に守れ ますか？ 災害が引き起こす避難者の心身への影響と適切 な対応について被災地実例から学ぶ		
< 事例報告 > 13:00～14:00	県内の活動事例報告 男女共同参画視点を活かした活動事例から 地域課題解決のヒントを得る	○Say! 輪(セイリング) (北九州市) 子育て世代のママ達が集まり発足。防災を通じた 人の輪づくりをテーマとした『防災ワークショッ プ』を市民センター等で実施 ○篠栗町消防団女性消防隊 (篠栗町) 新規転入世帯や子育て世代、高齢者等、地域の誰 も取り残さない町づくりのために、防災情報活用の 充実化を目指して活動	 
< グループワーク > 14:15～16:00	避難所運営について 高齢者・障がい者・子ども・女性などの立場か ら実際の避難所運営を考える	浅野 幸子さん	

申し  
込み

HPから

<https://event.asubaru.or.jp/event/264>

FAXから

092-584-1262

メールから

[info@asubaru.or.jp](mailto:info@asubaru.or.jp) (メールの場合は下記申込項目についてお知らせください。)スマートフォン・  
携帯電話はこちら

## 災害対応力向上講座 参加FAX申込書

お名前				
所属名(団体名)				
電話番号		一時 保育	お子様1人につき300円 ・生後6か月～就学前まで ・5/31(金)までの要予約	□利用する ( 名)
メールアドレス				

※ご記入いただきました個人情報は、ご本人の承諾がない限り、本講座及び当センター主催事業案内以外に使用したり、第三者に提供することはありません。

